

日本鐵鋼協會記事

理事會 (昭和 17 年度第 4 回)

日時 昭和 17 年 6 月 3 日(水) 午後 5 時開會、午後 7 時 30 分閉會

出席者 會長松下長久 副會長三島徳七 理事朝谷俊平 池田正二 石原善雄 志村繁隆 藤村哲之 前會長依國一 河村 驍 監事吉川晴十 常務委員石田四郎 鹽澤正一 志村清次郎 依 信次 主事金谷三松

協議事項

- 昭和 17 年度秋季講演大會開催地の件
候補地として八幡市及び名古屋市を選び研究したるも何れも宿舍及び會場の關係上困難あり、此會議後 東京と決定)
- 昭和 17 年度月例講演會講師の件
各大學及び大會社へ派遣方を依頼し一年度間の案を作り交渉することとなれり。
- 會長 動力協會參與、商工省工業品規格統一調査會委員を前會長より繼承のこととなる。
- 故今泉博士記念資金募集要項第 3 號の故今泉博士記念資金取扱規則は次の如く承認。

日本鐵鋼協會今泉博士記念資金取扱規則(案)

第一條 本會は本規則の定むる所により今泉博士記念資金募集委員會の寄贈に係はる金額の取扱に關し左記希望條件を實施するものとす

希望條件

鐵鋼の科學及技術に關する有益なる試験研究者又は著述者に對する援助資金に充當すること

第二條 本記念資金の保管は日本鐵鋼協會に於て確實なる信託會社又は銀行に現金、帝國公債又は確實なる社債として保管を依託し夫れより生ずる利子のみを以て前條所定の希望條件を實施するものとす

第三條 寄贈資金の各年度支出に就ては日本鐵鋼協會内に今泉博士記念資金委員會を組織しその協議により之を決定すること

第四條 前條の資金委員は本會理事及理事會の推薦に係はるものとす委員數は二十五名以内、其任期は二ケ年とす但連續重任を妨げざるものとす

第五條 記念資金に關する事務處理の爲め左の役員を置く

委員長 一名 幹事 若干名

第六條 委員長には日本鐵鋼協會會長、幹事には理事之に當るものとす

第七條 本資金による援助候補者の選定は毎年一回之を行ふを原則とす

第八條 本規則による援助資金受領者は毎年一回該年度の費用支出に關する計算書並に研究(又は著述)經過を本會に報告するの義務あるものとす

第九條 前條所定の運用資金に殘額を生じたる時は之を銀行預金として利殖し次年度の運用資金に充當するものとす

第十條 本資金の收支は毎年一回之を本會通常總會に報告し且つ日本鐵鋼協會々誌「鐵と鋼」に掲載するものとす

第十一條 本規則は時宜に應じ本會理事會及評議員會の議を経て寄贈者の希望條項の精神に背反せざる範圍に於て之を更改する事を得るものとす

昭和十七年六月 日 役員會に於て決定即日施行

- 學術振興會より依頼の激性國家の鐵鋼に關する專賣特許に關する調査の件は吉川晴十君主宰の下に編輯委員會に一任のこととなる。
- 事務員備入、解職の件 次の如く承認。
依願解職 編輯技生 石丸照明 (昭和 17-5-25)
備入 編輯技生 北口一郎 (昭和 17-5-1)
- 昭和 17 年 4 月 收支決算審査承認
- 入退會者及會員異動の件承認

會員異動統計表 (5 月 1 日~5 月 31 日)

	名譽會員	維持會員		贊助會員	正會員	准會員	計
		會員數	口數				
入會者		+ 1	+ 3		+ 13	+ 54	+ 68
退會者					- 1	- 1	- 2
死亡者					+ 1	- 1	0
轉格者						- 1	- 1
5 月 31 日現在會員數	13	61	160	23	2,454	2,949	5,500

備考. 維持會員口數増加+3 は新入會日本電解製鐵所殿(2口)及會員日產自動車會社殿(1口)を追加せられ(2口)となりしものなり。

報告事項

- 編輯委員會(昭和 17 年度第 3 回) (前號既述)
- 日本耐火物協會聯合「トリベ」用耐火煉瓦標準規格統一研究小委員會 (前號既述)

昭和 17 年度第 1 回講演會

日時 昭和 17 年 5 月 29 日(金) 自午後 6 時 30 分至午後 8 時 30 分

場所 神田區一ツ橋 如水館

講演 南方地域の鐵鑛資源に就て(1 時間 10 分)

商工省地質調査所第二部長

地質調査所技師 理學士 石井 清彦君

映畫 海鷗外ニュース 數卷(45 分間)

出席者 115 名

昭和 17 年度第 2 回講演會

日時 昭和 17 年 6 月 10 日(水) 自午後 6 時 30 分至午後 9 時

場所 丸ノ内霞ヶ關 法曹會館

講演 獨逸に於ける金屬材料最近の狀況(1 時間 30 分)

海軍航空技術廠

海軍技師 工學博士 大谷文太郎君

(以下 795 頁につゞく)

日本鐵鋼協會記事

理事會 (昭和 17 年度第 5 回)

日時 昭和 17 年 7 月 9 日 自午後 5 時至午後 7 時

場所 協會々議室

出席者 會長松下長久 副會長三島德七 理事網谷俊平 石原善雄 前會長俵國一 河村 颯 水谷叔彦 渡邊三郎 監事吉川晴十 常務委員石田四郎 鹽澤正一 俵 信次 主事金谷三松

協議事項

1. 昭和 17 年 10 月日本鐵鋼協會第 28 回講演大會開催地其の他の件は次の如く決定。

1. 會場 東京市一ツ橋帝國教育會々館

ロ. 日程 10 月 16 日 (金) 第二回鑄物研究部會第二回鑄物研究會

10 月 17 日 (土・祭) 講演第一日, 夜晩餐會 於櫻田門法曹會館

10 月 18 日 (日) 講演第二日

10 月 19 日 (月) 見 學

ハ. 實行委員分擔

會長	松下 長久	副會長	三島 德七
總務・接待	吉川 晴十	總務補佐・接待	石原 善雄
會計・接待	網谷 俊平	講演	池田 正二
講演	石田 四郎	"	志村清次郎
"	俵 信次	"	一色 貞文
"	菊池 浩介	"	齋藤 彌平
"	橋本 正一	"	前田 六郎
"	山口 眞申	兼掛圖及幻燈	横山 均次
研究會	志村 繁隆	研究會	田中 清治
"	岡部 長衡	"	石川 薫
見 學	藤村 哲之	見 學	鹽澤 正一
"	一色 貞文	"	石田 四郎
"	石川 薫	"	岡部 長衡
"	菊池 浩介	"	齋藤 彌平
"	俵 信次	"	橋本 正一
"	前田 六郎	"	山口 眞申
"	横山 均次		

2. 月例講演會講師豫約の件交渉中

3. 鐵鋼要覽發行準備

4. 全日本科學技術團體聯合會より照會の研究課題選定の件

5. 昭和 17 年度 5, 6 月分收支報告審議

	維持會員		贊助會員	正會員	准會員	計
	(員數)	(口數)				
入會者數	—	—	2	11	70	83
退會者數	—	—	—	—	—	—
死亡者數	—	—	—	—	—	—
轉格者數	—	—	—	—	—	—
6 月末日現在會員數	13	60	160	24	2,470	3,002
						5,569

備考 維持會員日本鋼管株式會社は舊維持會員, 中山鋼業株式會社を併合のこととなり其の持口(1)を引繼ぐこととなりたり。

6. 入退會者及び會員異動の件 (6 月 1 日~6 月 30 日)

報告事項

1. 編輯委員會 (昭和 17 年度第 4 回) (前月號記載)

2. 編輯委員會 (昭和 17 年度第 5 回)

日時 昭和 17 年 6 月 25 日(木)自午後 5 時 至午後 9 時

場所 協會々議室

出席者 前會長俵 國一君 理事石原善雄君 監事吉川晴十君 委員一色貞文君 石田四郎君 菊池浩介君 齋藤彌平君 鹽澤正一君 志村清次郎君 俵 信次君 橋本正一君 前田六郎君 横山均次君

協議事項 1. 敵性國家專賣特許中鐵鋼に關するものの調査

3. 日本耐火物協會聯合「トリベ」用耐火煉瓦標準規格統一研究會 (第 10 回)(前月號記載)

4. 日本鑄物協會聯合鑄物研究會幹事會 (第 4 回)

日時 昭和 17 年 6 月 30 日 自午後 5 時至午後 9 時 45 分

場所 協會々議室

出席者 委員長石川登喜治君 幹事網谷俊平君 橋本正一君 久富茂直君 松浦春吉君代理秋山二郎君 大塚誠之君 齋藤彌平君代理田邊友和君 主事金谷三松

協議事項

- 1) 鋼鑄物工場設計案に關する件
- 2) 鑄造法に關する件
- 3) 鑄型乾燥爐及操業法に關する件
- 4) 試驗規格の件
- 5) 燒鈍爐, 電氣鑄掛, 鑄込直後其の他の件

5. 月例講演會 (昭和 17 年度第 3 回)

日時 昭和 17 年 7 月 3 日(金) 自午後 6 時 至午後 8 時 15 分

場所 帝國鐵道協會々館

講演 製鋼工場の作業研究に就て

大同製鋼株式會社研究部次長

理學博士 清水 定吉君

映 畫 最近ニュース 數卷

出席者 152 名

寄贈圖書

原番號	著 者	書 名	寄 贈 者
561	小島 精一	日本鋼管株式會社三十年史	日本鋼管株式會社殿
562	前田 一	磯村豊太郎傳	株式會社日本製鋼所並北海道炭 礦汽船株式會社

日本鐵鋼協會關西支部

第 16 回例會

日時 昭和 17 年 5 月 16 日(土)

午前 10 時 10 分山陽電鐵飾磨停留所前集合午後 4 時散會

見學場所 A 班 山陽製鋼株式會社飾磨工場 (兵庫縣飾磨市中島 3007)

日本製鐵株式會社廣畑製鐵所 (兵庫縣飾磨郡廣村廣畑)

B 班 山陽製鋼株式會社飾磨工場 (兵庫縣飾磨市中島 3007)

參加者 A 班 83 名; B 班 127 名

第1回關西平爐懇談會

日 時 昭和16年11月5日(水) 自午後1時 至午後8時

場 所 中央公會堂二階6號室

出席者 阪大工學部多賀谷正義君, 日鐵大阪製鐵所作野半兵衛君, 日亞製鋼大山良一君(代理), 大阪製鋼佐久間友二君, 成廣斐雄君, 大同製鋼森村壽昌君, 川崎製鋼小島豐榮君, 神戸製鋼赤松嘉一君, 中山製鋼林康作君, 島村能夫君(代理), 大和製鋼福島佐一君, 西田大麓君, 尼崎製鋼所山田貞雄君, 白川龍水君, 神之門善藏君, 住友製鋼栗田滿義君, 土居寧文君, 住友鋼管鈴木秋三君, 小田助男君。

議 事 多賀谷君(阪大)挨拶後 幹事林君(中山製鋼)座長に決定議題に移る。

- I. 床掘れによる能率低下狀況並に其の對策
- II. 製鋼各係工具割増金歩合
- III. フェロマンガンを節約に就て

第2回關西平爐技術懇談會

日 時 昭和17年1月31日 自午後1時 至午後8時

場 所 大阪ビル談話室

出席者 阪大藤井寛君, 日鐵大阪佐野半兵衛君, 牛谷恒之助君,

日亞製鋼吉村四郎君, 大阪製鋼佐久間友二君, 川崎製鋼小島豐榮君, 神戸製鋼赤松嘉一君(代理), 澤田悟君(代理), 杉澤英男君(代理), 中山製鋼島村能夫君(代理), 大和製鋼吉川平喜君, 福島佐一君, 西田大麓君, 尼崎製鋼白川龍水君, 神之門善藏君(代理), 住友製鋼栗田滿義君, 土居寧文君, 住友鋼管鈴木秋三君, 小田助男君。

議 事 幹事住友製鋼栗田君挨拶後議題に移る。

- I. 脱酸に關する研究
- II. 空襲下に於ける平爐操業並に工場防護の具體策

第3回關西平爐技術懇談會

日 時 昭和17年3月27日 自午後2時

場 所 神戸高工會議所四階

出席者 阪大藤井寛君, 川崎製鋼小島豐榮君, 石田孝造君, 矢島弘一君, 住友鋼管鈴木秋三君, 住友製鋼土居寧文君, 尼崎製鋼山田貞雄君, 河霜龍一君(代理), 神戸製鋼赤松嘉一君(代理), 菅浦正俊君(代理), 村山正義君(代理), 大同製鋼坂口嘉三郎君, 日鐵大阪牛谷恒之助君。

議 事 幹事川崎製鋼小島君挨拶後議題に移る。

1. 續脱硫に關する研究。